

平成28年度青葉小だより

第4号

★青葉小学校の目標!

ときをまもり・ばをきよめ・れいをただす
時を守り・場を清め・礼を正す

北九州市若松区青葉台西3-1-1
北九州市立青葉小学校 Tel 741-5511
H. 28. 6. 7 文責 校長 田中 理章

平日開催でしたが素晴らしい運動会でした!感動をありがとう!!

当初5月29日(日)に予定していた春季大運動会は雨のため31日に延期となりましたが、保護者の皆様の熱い応援で平日開催とは思えないほどの盛り上がりを見せた素晴らしい運動会が実施できました。29日(日)の延期連絡が「一斉メール」の不具合により当初の予定時間を大幅に過ぎてしまい多大なるご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。来年度以降は何らかのバックアップ体制を整えていきたいと思っております。しかし、31日は雲一つ無い晴天に恵まれ、子どもたちの躍動する姿や保護者の皆様が必死に応援する姿に感動を覚えるほどの素晴らしい運動会でした。

1年生は、小学校生活で初めての運動会でしたが、みんなで力を合わせ落ち着いて「玉入れ」や「かけっこ」に挑戦しました。表現運動ではかわいらしい姿で一生懸命に踊る様子に会場が笑顔になりました。

2年生は、昨年の経験からすっかり落ち着き、運動会を楽しんでいる様子が伝わってきました。ダンスでは、さすがに2年生だと感じさせるほど揃っていて1年間の成長を実感しました。



(1年玉入れ)



(2年ダンス)



(3年風を切って)



(4年ダンス)

3年生は「風を切って」で、ダイナミックな動きを披露し、立派な中学年になったことをアピールしていました。4年生のダンスは、全体の動きや個々の動きがとても難しかったようですがとてもそろっていて素晴らしいダンスでした。



(5年生ダンス)



(6年組体操)



(圧巻の入場行進)



(応援合戦)

5年生は、上級生として迎える初めての運動会でしたが、色々な役割を与えられたことに自覚を持ち、一生懸命に運動会に取り組みました。ダンスでは男女が仲良く踊る姿が印象的でした。6年と協力して取り組んだ騎馬戦や綱引きでは迫力ある演技を見せてくれました。

6年生は、小学校生活最後の運動会でした。それぞれの役割分担をきちんとかなし、全校児童のために汗を流しながら仕事に取り組んでいる姿に最上級生としての自覚と成長を感じました。「みんながみんな英雄・組体操」では一つの作品を完成させていく喜びを感じているようでした。素晴らしい笑顔が印象的な演技でした。

※「感動をありがとう」と全児童に拍手を送りたくなる1日でした。

最後に、事前のテント張りや前日から地域の商業施設に張り紙を貼ったり、朝早くから道路にコーンを並べたりとお手伝いをしてくださった保護者の皆様方へは感謝の気持ちでいっぱいです。更には、後片付けの時には進んでお手伝いして下さる役員・理事の皆様や保護者の方々の姿を見て、青葉小学校校区の教育力の高さを実感した運動会でした。最後になりましたが、近隣住民の皆様方が協力的に本校の運動会を支えてくださったことにも心より感謝申し上げます。青葉小学校校区の全ての皆様方に感謝いたします。本当にありがとうございました。

リコーダー講習会を実施

しました。 4

月3
0日(木)にリコー
ダー
講習会を実施しま

した。リコーダー講習会
とは3年生から音楽の
学習で初めて使うこととなるソプラ
ノリコーダーの正しい持ち方や
指使い、更にはリコーダーに興味
を持ってもらうことを目的として、
実施しているものです。

講師の先生はプロのリコーダー
奏者の方です。リコーダーの種類
の多さやそれぞれの音色の美しさに
子どもたちは目を丸くして聴き
入っていました。3年生の目の輝
きが印象的な講習会でした。

いよいよ運動会の練習が

始まりました。!

今週より本格的に運動会の練習が始まりま
した。1日2時間程度体育館や運動場で汗を
流しながらの練習となります。かなりの体力
を消耗しますので、早めの就寝を心がけるよ
うに声をかけてあげてください。

更に、水分補給の重要性から水筒を持たせ
るようにしてください。衛生面から水筒は毎
日新しいお茶を入れてください。

また、18日の月曜日の午前中に児童用の
テントを設営します。もし、お手伝いが可能
な保護者の皆様はご案内プリントの切り取り
線以下をご提出くださいますようお願い申し
上げます。締め切りは15日までとなっております。

安全第一で練習をしていきます。演技の内
容についてはお子様からお聞きください。家
族の会話が弾むことを願っています。

校長の独り言(母の日に思うこと)

毎年、5月の第2日曜日は「母の日」です。
私も毎年のように自分の母親を日帰りで温泉
に連れて行ったり、お花をプレゼントしたりし

ているのですが、世の中には「母の日」が辛いと思っている子どもも多くいます。私も
担任時代に子どもに辛い思いをさせたことがあります。5月のある日、初
めて担任をしたクラスの子もたちに「今度の日曜日は母の日だ。日曜日にはお母さ
んのために家事の手伝いをするのが宿題だ。」と何も考えずに言ってしまったこと
があります。「母の日」の翌日に「私、宿題をしていません。だけどお父さんと一緒
に食事を作りました。」とあっけらかんと言われました。私は一瞬「ぼかん」としま
したが次の瞬間、その子の母親が病気で亡くなっていたことを思い出したのです。何
も考えずに宿題を出した私は、まさに教師失格です。その日以来、私にとって母の日
は自己反省と母の日を祝うことができることに感謝する日になりました。

